

これからの社会保障の あるべき姿を考える



日本では少子化に歯止めがかからず40年連続で14歳以下の子ども数が減少しています。2020年は、前年より19万人少ない1493万人で過去最低を更新しました。人口減少と少子高齢化がすすむ一方で、2025年には75歳以上の人口が、全人口の18%以上を占め、5人に1人近くが75歳以上という超高齢社会になります。医療や介護などの負担と給付の割合が大きく変わるとみられています。

また、消費税の増税や、新型コロナウイルス感染症のひろがり等が重なり、消費者の暮らしは厳しさを増しています。年金や、医療費問題、介護保険制度など政府がすすめている「全世代型社会保障」と、本来あるべき「自助・共助・公助」、経済格差のひろがりや貧困問題にも目を向けた社会保障のあるべき姿について、一緒に学びましょう。

「全世代型社会保障と、社会保障のあるべき姿を考える！」

日程

2021年 **9月25日(土)** 10:00 ~ 12:00

場所

リモート(Zoom)及び三重県教育文化会館(パブリックビューイング) 裏面参照

*参加のお申し込みは、インターネットで受けつけています。

お電話でのお申し込みは所属生協にお申し込みください。9月15日(水)まで

【申込フォーム】 <https://form.os7.biz/f/0f80cbd6/>

- ・生活協同組合コープみえ組織活動推進課：電話059-271-8503
- ・みえ医療福祉生活協同組合組合員活動部：電話059-213-8668
- ・三重県学校生活協同組合：電話059-230-730
- ・こくみん共済COOP：電話059-227-6167
- ・三重大学生活協同組合、三重短期大学生生活協同組合、三重県看護大学生生活協同組合：059-231-1103

*新型コロナウイルスの感染状況によりリモートのみで開催する場合があります。



募集人員

会場30人まで、リモート100人程度

講師



三重短期大学
生活科学科教授
長友 薫輝氏
(三重短期大学生生活協同組合 理事長)

講演内容

(予定)

- ・社会保障を取りまく状況
- ・社会保障制度改革の推移
- ・「自助・共助・公助」と社会保障のあり方について など

主催/三重県生活協同組合連合会 協力/消費者市民ネットワークみえ

お問い合わせ先

三重県生活協同組合連合会 TEL.059-228-9913 / FAX.059-228-9915 メール toiawase@miekenren.jp

講師プロフィール

三重短期大学
生活科学科教授
ながとも まさてる
長友 薫輝氏
《社会福祉学修士》



- ・担当科目：社会福祉論、社会保障論、地域福祉論、社会福祉援助技術現場実習、社会福祉援助技術現場実習指導、福祉心理基礎演習、福祉心理演習
- ・研究テーマ：地域医療、地域福祉に関わる調査研究、社会保障制度・政策論研究、社会福祉援助技術論研究

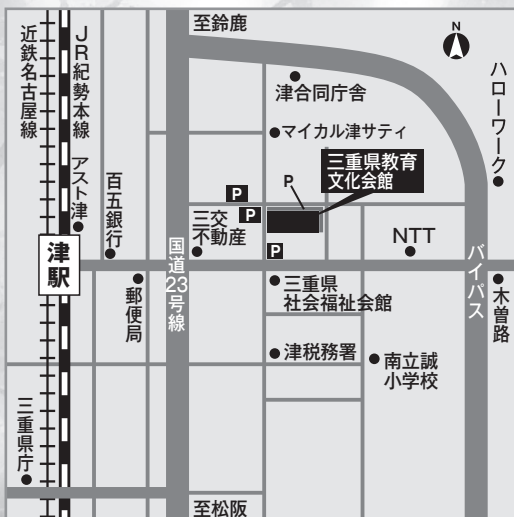
・著書

『地域の病院は命の砦』
『いま地域医療で何が起きているのか』
『新しい国保のしくみと財政』
『長友先生、国保って何ですか』

・最近の社会的活動

三重県国民健康保険運営協議会委員
三重県行政不服審査会委員
三重県障害者自立支援協議会会長
三重県ひきこもり支援推進委員会委員長
松阪市地域包括ケア推進会議会長
第189国会参議院厚生労働委員会参考人(医療保険制度改革関連法案審議)など

学習会(パブリックビューイング)会場アクセス



三重県教育文化会館 第2会議室(3階)

三重県津市桜橋2-142 TEL:059-228-1122

約100台の駐車場を設けております。
お車でお越しの際は、来客専用駐車場をご活用ください。

- ・松阪から……国道23号線を車で約40分
- ・四日市から…国道23号線を車で約50分
- ・伊勢から……国道23号線を車で約1時間
- ・JR津駅から…徒歩で約5分